

くすのき だより

心ではぐくむ健康と笑顔の樹

VOL.
29

2018年
10月発刊



撮影場所／北海道千歳市(写真／白石 啓太郎)

医療福祉支援センター開設

トピックス

- 医療福祉支援センター開設
- 栄養ワNDER-2018
- 「患者さんの声」の
集計結果について
- 市民公開講座
 - 心臓病と運動療法について
 - 後悔しない膝の治療の選び方
- 第11回脳卒中合宿セミナー
- ワーク・ライフ・バランス推進 カンゴサウルス賞
- 私たちの職場
 - がん診断に特化した病理診断料
 - 手術室・麻酔科・滅菌室
- 新任自己紹介
- お知らせ
- 無料・低額診療事業について
- 理念・基本方針・
患者さんの権利宣言



医療福祉支援センター開設

医療福祉支援センター長 亀山 智樹

平成30年4月より入退院支援室、地域医療連携室、医療福祉相談室を統合し、新たに医療福祉支援センターを開設しました。さらに、病院正面入口横のエントランスホール東側に、入退院支援室の相談コーナーを2部屋新設し、より細やかな支援を行う体制を整えました。

入退院支援室では、入院の予定が決まった患者さんが、入院生活や入院後にどのような治療過程を経るのかを想像・理解でき、安心して入院医療を受けられるように、所属の看護師が、入院中の治療や入院生活の説明を行うことに加え、多職種による栄養状態や服用中の薬などの確認を行います。そのうえで、収集した患者情報にもとづいて入院中の看護や栄養管理などの支援計画を立案します。入院中はこの計画に沿って多職種により治療、看護が行われます。また、安心して退院できるように、退院後の生活や各種サービス利用について、患者さんやご家族の希望も含めて入院前から検討し、調整・支援を行います。

地域医療連携室は、地域のかかりつけの先生からの紹介による外来受診・緊急入院、他の病院からの転院などの窓口となっております。また、住み慣れた地域で継続して生活できるように、患者さんやご家族、担当のケアマネージャーや他施設の方々と協力して、退院支援や転院調整を行います。また、医療福祉相談室と連携して、退院後の生活の場や、介護保険についての相談や説明、退院後の訪問診療、訪問看護などに関する紹介や調整も行っています。

医療福祉支援センターは、済生会富山病院を受診する患者さんが、安心して治療や療養を受け、できるだけ早く住み慣れた地域での健康的な生活を再開できるよう、多くの職種が連携して、入院前から退院後まで様々な面から支援いたします。相談は随時受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。お待ちしております。



栄養ワンダー2018

栄養管理科 竹之内 弘美

『栄養の日』まだ皆さんにあまり知られていませんが、平成28年に日本栄養士会で、8月4日は『栄養の日』8月1日から7日は『栄養週間』と制定、平成29年4月5日に一般社団法人日本記念日協会に記念日として登録されました。

なぜ『8月4日』なのでしょう？ 「7月31日栄養改善法公布」「8月1日公益社団法人設立」「8月2日健康増進法公布」など、栄養や日本栄養士会に関連する記念日が多数あるこの時期に、一般生活者に親しみをもっといただくことを目的とし、8(エイト)と4(よん)で、「えいよう」の日と制定されました。そして、全国の管理栄養士・栄養士がこの時期にイベントを開催しています。

当院も昨年よりイベントを開催し、管理栄養士4名総出で取り組んでいます。第2回目となる今年は8月3日(金)にエントランスホールにおいて行い、患者さんやそのご家族など約60名の参加がありました。

今年は、無料栄養相談の他に、果物・野菜の栄養素に関するポスターやレシピの掲示コーナー、病院管理栄養士のお仕事紹介と題して普段の私達の業務内容について紹介したブース、高蛋白質のヨーグルトの試食や低カロリー製品等の紹介コーナーを設けました。

栄養相談コーナーでは、「体重が減らないのだけど?」「母親が血圧高いって言われたのだけど、どうすればいい?」など、ご自身やご家族の体、食事について多くの相談が寄せられました。また、ヨーグルトを試食し、「これ美味しいね。どこで買える?」と質問される方がおられたり、レシピ掲示コーナーでは、「これ作ってみるわ。」と、レシピをメモしたり携帯で撮ったりされる方がおられたりと、参加された方には、栄養(食べて生命を維持する活動)に関して興味を持っていただけたのではないかと思います。

今後も「栄養の日」を通して、又、管理栄養士として多くの方に健康に生活していただくため、栄養への興味や理解を深めていただけるよう活動をしていきます。



「患者さんの声」の 集計結果について

1 概要

●意見内容

テ ー マ	主な内容	件数
設備・サービス	コンビニ、レストラン、病衣などへの意見	36
職員の待遇など	職員の態度、対応などへの意見	18
感謝・激励など	スタッフへの感謝、ほっとホスピタルが楽しみなどの意見	9
診 療	医師の説明、投薬、診療などへの意見	5
待 ち 時 間	待ち時間の短縮への意見	3
給 食	食事内容などへの意見	2
そ の 他	樹木の管理などへの意見	5
	合 計	78

●意見箱設置場所 1階ロビー、2階くつろぎ広場 及び各病棟のフロアー 計7カ所

●回収期間 平成29年4月～平成30年3月

●結果の措置

病院への苦情や改善に向けたご意見、職員への感謝の言葉など、いろいろなご意見・ご要望等をいただきました。

今後とも、患者さんからのご意見に、真摯に対応してまいりますので、お気づきの点がございましたら、「患者さんの声」にご意見をお寄せください。

2 「患者さんの声」及びご意見に対する当院の対応について(代表的なもの)

患者さんの声	当院の考え、対応
設備・サービスに関するご意見 朝の受付の際、発券機で順番を取っているのに、受付機の番号が後ろの番号になるのはおかしい。	システム上、日付で番号を取っているため、救急などで深夜に診察があると、朝の順番を取る発券機と、受付機の番号に違いが生じます(朝1番の受付でも、深夜に10人の患者さんがあると、受付機は11番になります。)。このため、患者さんに誤解を与えないよう、番号が動く場合は、その旨を説明することにいたしました。
洗濯機の使用が終わっても、洗濯物を取りに来ないと、次の人が利用できない。このため、洗濯機を使うときに、名前や部屋番号等を記入するようにしてはどうか。	対応を検討した結果、洗濯機の利用者から申し出があった場合、病棟職員が取り込んでない洗濯物を取り込み、保管することとしました。この旨を掲示し、注意喚起いたします。
病院からMRIの画像をもらうのに、費用を請求するのはなぜか。MRIの撮影費用は自分が負担しているのに、二重取りではないか。	患者さんからの要望で、MRIやレントゲンの画像をCD-Rに取り込む場合は、作成に係る手数料として、1,080円いただいています。なお、診療上、他の医療機関に画像を提供する必要がある場合は、費用請求しておりませんので、ご理解をお願いいたします。

<p>ベッドの下のゴミが掃除されていない。患者が気持ちよく病院生活を送れるよう、もう少しきれいな掃除の仕方をしてほしい。</p>	<p>ベッド周りに荷物があつたり、ベッドが低い位置にセットされている場合は、きちんと床の清掃ができていない場合があります。 このため、委託業者に、きちんと清掃業務を行うよう、指導いたしました。</p>
<p>職員の接遇などに関するご意見</p> <p>車椅子の患者がCT室に出入りする際、他病院では職員が対応してくれるのに、ここでは「どうぞ」と言われただけで、家族が車椅子を押して出入りした。また、寒いからと借りた毛布を、丸まったまま足の上に置かれ、掛けてもらえなかった。ありえない対応である。</p>	<p>患者さんやご家族に対する接遇について、スタッフ間で再確認いたしました。 車椅子での入退室は、ご家族にお願いしていますが、「入室をお願いします」などの声かけを行うこと、患者さんに対する気遣いを怠らないことを確認いたしました。</p>
<p>看護師に、次のような対応・接遇がいられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁に寄りかかり、伸縮性ある物で遊んでいた ・車椅子を速い速度で動かす、ストップパーをかけずに患者を移乗させている ・患者移動時にベッド柵を落とす(動作が荒い) ・患者を確認せず、違った病名で声かけした ・面会の家族等に挨拶しない ・面会者がいるのに、上から目線で患者を叱る 	<p>看護師の対応・接遇や所作について、たくさんのご指摘をいただき、ありがとうございました。 日頃から、患者さんやご家族の立場を考えた配慮を心がけるよう指導していますが、まだまだ十分ではありません。 良質で安全な看護を提供できるよう、引き続き指導してまいります。</p>
<p>診療に関するご意見</p> <p>父が、朝飲んだ薬でむせて、大変だったと看護師から聞いた。飲み込みが悪い状態だったので、大きめの薬を、砕くなり、つぶすなり、飲ませ方があったのではないか。</p>	<p>院内で患者さんの情報が共有されていれば、薬剤の変更や、とろみ剤の使用など、必要な対応がなされたものと考えます。 当院では、摂食嚥下サポートチームを設け、食事や呑みこみの状況に応じた対応を進めております。今回の事例を教訓に、チーム医療を推進してまいります。</p>
<p>長期間にわたり通院しているが、いつも変わらない診察で、急激な腫れについても、見たのか見ないのか分からず、不安に思う。 患者の変化は、患者の方から話をしなければならぬものなのか。</p>	<p>慢性疾患の場合、多くの患者さんは4週から8週の間隔で通院しています。このため、医師の診察だけでは、患者さんの変化に気づかないこともありますので、患者さんから、お気づきの点や、近況などをお話していただけると、診察もスムーズに進むと思います。 ご協力をお願いいたします。</p>
<p>待ち時間に関するご意見</p> <p>会計が遅い。以前は、3番と4番の2つの窓口で会計していたのに、今は、3番で請求書をもらい、4番で支払うため、4番の窓口が列になっている。なぜ段取りの悪いことを行ったのか。</p>	<p>先に請求書をお渡しすることで、支払いまで何番目かわかる運用にしていたのですが、平成30年10月現在、診察終了後、3番窓口にてファイルを受け取り、計算終了後、4番窓口にて患者さんのお名前をお呼びしお支払いいただく運用に変更しました。4番窓口職員を2名配置していますので、お支払いに要する時間は以前と変わりません。ご理解をお願いいたします。</p>
<p>給食に関するご意見</p> <p>時間が経っていたのか、昼のスパゲティの上の方が乾いていて、食べられなかった。</p>	<p>配膳直前に麺を茹で、ソースをかけるようにしていますが、蓋をしていなかったため、乾燥したものと思われます。 全てのものに蓋をしているわけではありませんが、乾燥しやすいものには蓋をして配膳いたします。</p>

市民公開講座

心臓病と運動療法について

内科 部長 大原 一将

平成30年6月2日に当院研修ホール等にて「心臓病と運動療法」について市民公開講座を開催し約130名の方にご参加いただきました。

前半は血圧測定の看護コーナー、血管年齢・肺年齢計測の検査コーナー、塩分チェックの栄養コーナーそして心臓病の運動療法の運動コーナーと4つの体験コーナーを準備し、来場いただいた方々に体験を通して心臓病との向き合い方を伝えさせていただきました。また、後半は多職種リレー形式で、心臓病についての治療法や予防法をお話させていただきました。

今回ご参加いただいた方の40%が心臓病ではない方、また半数以上が当院での市民公開講座に初めて参加された方であり、活発な質疑応答からも心臓病に対する関心の高さが伝わってきました。今後も心臓病との関わり方を通して、健康寿命を延長し住み慣れた地域で皆様の生活の質が向上するようお役に立ちたいと考えてお

ります。ご参加いただきましてありがとうございました。



市民公開講座

後悔しない膝の治療の選び方

整形外科 主任部長・人工関節センター長 藤井 秀人

平成25年から年に1回当院の研修ホールや市街地中心部で市民公開講座を行ってまいりました。今回は7月8日に当院の研修ホールで開催しました。第1部として私から「高齢者の膝の痛み -なぜ痛くなるのか、手術をしない治療から、内視鏡手術、骨切り術、人工関節置換術まで-」というタイトルで高齢者の膝痛の最も多い原因である変形性膝関節症の病状から治療までをお話しし、第2部として「チーム医療で患者さんを支える当院の人工関節センターについて」というタイトルで看護師、リハビリ担当、医事課入院係、ソーシャルワーカーから入院前の準備、入院生活、手術後のリハビリ、費用、保険の利用方法、などを説明しました。100名ほどの方に集まっていたが、大変盛況でした。今後も医療の専門職として一般の方々に正しい知識を提供し、少しでも多くの患者

さんのQOL(生活の質)が改善し、最近話題のロコモティブシンドロームを防ぐ活動を続けていけたらと思います。



第11回脳卒中合宿セミナー

看護師 芹田真梨子

当院主催の第11回脳卒中合宿セミナーが6月23日～24日の2日間にわたり開催されました。今回のテーマは「前へ!～脳卒中の接近・展開・継続～」でした。脳卒中に熱い思いを持った方々が、全国から200人あまり参加されました。

特別講演では、森本将史先生(横浜新都市脳神経外科病院長)をはじめ、国際的にもご活躍中の5名の先生方にお越しいただき、各分野における専門性の高い貴重な講演を聞かせていただきました。急性期治療の現状や、高次脳機能障害、嚥下に関する興味深い内容でした。また、講演の中には、目白大学のスタッフによる脳卒中啓発演劇があり、大変盛り上がりしました。

夜は懇親会があり、看護師やリハビリスタッフなど多職種で様々な情報交換、意見交換により、交流を深めるとともに、良い刺激を与え合いました。

た。セミナーで得た学びを、今後の医療、看護の現場で役立て、一步でも前へ前進したいと思います。



ワーク・ライフ・バランス推進 カンゴサウルス賞

看護師長 浜松めぐみ

日本看護協会主催する「第6回看護職のワーク・ライフ・バランス(以下、WLB)推進カンゴサウルス賞」授賞式が5月23日、ザ・ストリングス表参道にて開催され、当院看護部は「カンゴサウルス賞」を受賞しました。

当院では、平成27年度から「看護職のWLB推進ワークショップ」事業に参加しており、「お互いを思いやり、やりがいをもって長く仕事を続けられる職場作り」を目指して、全員参加で毎年度WLBに関する業務改善を行ってまいりました。

また、看護部長、副看護部長と看護部スタッフが気軽に意見交換をできるランチ会の場を提供したり、業務改善の成果や業務量などの実態調査結果を看護部全体に周知するなど様々な取り組みを行ってまいりました。

看護部では今後も、この取り組みを継続していきたいと考えております。



私たちの職場

がん診断に 特化した 病理診断科

病理診断科 係長 田近 洋介

病理診断科では、富山大学附属病院より、病理専門医の派遣を受け、臨床検査技師3名で、病理診断を行っています。現在、国民の3人に1人が、がんにより命を落としています。がんの治療には病理診断が不可欠であり、当科では生検や手術材料の組織診断や細胞診などの病理診断、さらに院内での免疫染色や遺伝子検索性病理標本作製などのコンパニオン診断にも対応し、高度な病理診断・検査の提供を心掛けています。また、認定資格の取得を推奨しており、臨床検査技師の上級資格である細胞検査士国内認定はもと



より、国際細胞検査士、認定病理検査技師資格などの取得者が在籍し、学会の施設認定も受けています。これら認定を始め学会発表や研修会参加を通して、日々研鑽に励み高度な医療に対応し、提供する事で病理診断科一同、さらに地域医療に貢献していきたいと思ひます。

手術室 麻酔科 滅菌室

看護師長 沢田 朋子

当院の手術室は、常勤麻酔科医2名、看護師17名、看護補助者1名で手術業務にあたっています。平成29年5月より常勤麻酔科医が1名から2名に増員となり、緊急手術にも、より迅速に対応出来るようになりました。手術室は全部で4室あり、うち1室がクリーンルームになっています。そこでは主に整形外科の人工関節手術や脳神経外科の開頭手術を行っています。また当院の手術室には、血管撮影室が1室併設されており、心臓カテーテル検査や脳血管撮影検査、血管内手術を行っています。当院は、24時間365日脳卒中ホットライン、循環器ホッ



トラインの受け入れを行っているため、常に緊急手術に対応出来るよう体制を整えています。病院の理念「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を基に、患者さんに安全な手術が提供出来るよう、スタッフ一同日々研鑽していきたいと思ひます。



NEW FACE PROFILE

新任自己紹介



①氏名 ②所属(配属) ③抱負・自己PR等

NURSE 看護部



コジマセイコ
①小島聖子
②看護師(訪問看護ステーション)
③14年ぶりに済生会病院に戻ってきました。よろしくお願ひします。



イシクロタカシ
①石黒高志
②看護師(3F病棟)
③私は、地域包括ケア病棟で働いてきました。この病院でも自身の経験を生かし頑張りたいと思っています。



フルイチミチヨ
①古市美智代
②看護助手(6F病棟)
③私はお年寄りの方と会話するのが大好きです。看護助手として早く仕事を覚えお役に立てるようがんばります。



シモデサトミ
①下出里美
②看護助手(6F病棟)
③はじめての事だらけでドキドキしていますが、サポート出来るようがんばりたいです。どうぞよろしくお願ひします。

DOCTOR 医局



ヨシダヤスヒサ
①吉田泰久
②整形外科副医長
③外傷や足部疾患等で少しでも力を発揮できればと思っています。未熟者ですが、精一杯頑張りますので何卒宜しくお願い致します。



カモテツヒロ
①加茂徹大
②脳神経外科医員
③未熟な点は多いですが、患者さんに寄り添った医療を提供できるように心がけていきたいと思っています。

CLERK 事務部



ミナミキヨミ
①南清美
②医事課事務員
③不安と緊張ばかりですが、日々、勉強して早く仕事を覚えられる様頑張ります。宜しくお願いします。



アトジルミコ
①阿閉留美子
②医事課事務員
③少しでも早く仕事になれるように、一生懸命頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。



ナカノアミ
①中野愛美
②総務課事務員
③この度総務課で働かせていただくことになりました。1日でも早く慣れるよう頑張ります。

申込不要 参加無料

市民公開講座

済生会富山病院脳卒中市民公開講座2018

いっしょにめざそう! 脳卒中のない明日

開催日時

11月3日土 10:00~12:30

済生会富山病院 2階 研修ホール



申込不要・参加無料

世界糖尿病デー 2018

日時 **11月16日(金)**

時間 **9:00~12:30** 場所 **済生会富山病院**

第一部 無料体験・相談コーナー (9:00~11:00)

・血糖測定・フットケア・栄養・薬・運動の相談等

1階エントランスホール

第二部 講演会 (11:30~12:30)

※参加無料

2階研修ホール



認知症と糖尿病

～認知症について考える～

講師 **金沢医科大学病院 認知症センター 医学博士**

入谷 敦 先生「糖尿病と認知症の関係」



お弁当は事前予約が必要

★1個600円 限定70個

申込11/2(金)まで内科外来へ

濟生会富山病院では 無料・低額診療事業を 実施しています

無料・低額診療事業とは、医療費を

減額 免除

できる制度です。

生計困難な方が経済的理由により、
必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、
無料・低額な料金で治療を受けていただく制度です。



例えば

このような時にご相談ください

- 病気や障害、失業などで収入がなくなり、医療費の支払いが困難な方
- 「医療費が払えない」と、治療を受けずに悩んでいる方

利用方法

利用にあたっては、一定の条件がありますので、
まずは医療福祉相談室へご相談ください。
お問い合わせはお電話でもお受けいたします。

相談窓口

医療福祉相談室(1階26番)
TEL 076-437-1111(代)
月～金 8:30～17:30

毎月第2火曜日に無料・低額診療
相談会を実施しています

場 所:医療福祉相談室
時 間:9:00～12:00

相談は
無料です



理念

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さん本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さんの権利宣言

本院では“患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さんと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

① 個人としてその人格を尊重される権利

患者さんはひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。

② 質の高い医療を公平に受ける権利

患者さんは、適切で質の高い医療を、公平に継続して受ける権利があります。

③ 十分な情報を知り、説明を受ける権利

患者さんはご自身が受けている医療について知る権利や診療情報の開示を求める権利があります。また、その内容や危険性、他の方法の有無と長所・短所などについて、患者さんが分かる言葉で、十分に理解できるまで説明(インフォームドコンセント)を受ける権利があります。

④ 選択の自由と自己決定する権利

患者さんは、病院や医師を自由に選択し変更する権利と他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。また、分かりやすい説明を受け十分納得された上で、ご自身が検査や医療を選択する権利、あるいは拒否する権利があります。

⑤ プライバシーが守られる権利

患者さんは、ご自身に関する個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。

患者さんには、私たちが良質で安全かつ効率的な医療の提供を実践するために、次のことをお願いします。

- ご自身の自覚症状、病歴や服薬歴などをできるだけ正確に伝えてください。
- 診療、療養中におけるご自身の希望を遠慮せずに伝えてください。
- 他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたすことがある場合には、ご協力をお願いすることがあります。



済生会富山病院報 くすのきだより

発行者 富山県済生会富山病院
院長 井上 博

【編集委員会】 風間 泰蔵 南 沢 宏 松倉 裕喜 久保道也
加藤 智代 堀田 裕子 西川 和良 神保江梨香 谷内隆浩
佐々木正詞 本谷あてね 池下美沙紀 高畑 優子